

学校名 熊谷市立大幡中学校
所在地 熊谷市原島834番地1
電話 048-521-2660

1 本校の概要

(1) 学校の教育目標

志高く、進んで学び、認め合い、たくましく生きる生徒の育成

- 進んで学ぶ生徒 ○ 認め合う生徒
- たくましく生きる生徒

(2) 進んで学ぶ生徒の具体的目標

基礎的・基本的な力を身に付け、主体的に学習に取り組む生徒（の育成のために 一部抜粋）

- ・ 読書量の向上（30%以上増）

(3) 図書館の状況

蔵書数は規準を満たし、適切な廃棄も図書館補助員の努力で進んでいる。室内は冷暖房が完備されている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 利用指導の充実
- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

本校ではまず、学校図書館の利用指導を中心に実践を図っている。その上で読書指導を充実させ、読解力・思考力の向上を目指している。

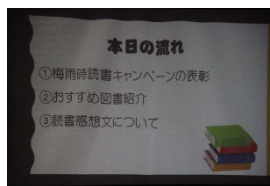
ア 学校図書館の環境について

利用者が利用しやすいよう分類番号順に整理されている。また、「新着本」・リクエスト本コーナーを設置している。

イ 図書委員による呼びかけ

各クラスの朝読書状況を踏まえ、呼びかけを行った。例えば、新聞や教科書を読んでいる生徒には昼休みの図書館利用と本を借りるよう促した。少しでも読書への興味・関心を高めるために学校図書館前に読書関連の新聞記事や図書委員による「おすすめ図書紹介」等の掲示を進めた。さらに、生徒朝会では読書についてのクイズや読書感想文の書き方、おすすめ図書紹介などを行い、読書への意識を高めた。

(生徒朝会での様子・掲示物)



ウ 読書指導について

- ・ 全校一斉読書活動の状況については、
8：25～8：35（朝会時以外毎日）
- ・ 読書案内等の啓発活動について
県作成の「推薦図書」を掲示・配布し、国語の時間等に適宜読書指導をしている。

エ 年2回の大幡中読書キャンペーンの実施

梅雨と秋、そして新春の年3回、読書キャンペーンの実施を計画した（3回目は中止）。期間中の多読者上位5名を朝会や放送で発表し、図書委員による手作りの賞状やしおりプレゼントするというイベントを実施した。毎回キャンペーン後も利用者が増え、学校図書館が活況を呈するきっかけとなっていた。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 生徒は、読書の習慣が身につけており、読書への興味関心のある生徒が多い。
- ・ 本を読むことを通じて自分自身をどのように見つめたかを文章に表現させることができた。

(2) 課題

- ・ 話題になっている本や、映画化テレビ化された本などは読むが、良書や名作に親しむ生徒は少ない。
- ・ 課題解決に向けての具体的な取り組みが不十分。

(3) おわりに

今後も授業で積極的に学校図書館を活用し、授業内容と関連させながら、生徒の読書活動を推進したい。また図書館補助員と協力し、整備や活動の充実に努めていきたい。